

イギリス絵本留学滞在記

—現代絵本の源流ウォルター・クレインに魅せられて—

正置友子 著

Masaki Tomoko

50代半ばにしてイギリス留学へと旅立つ。美しいウォルター・クレインの絵本と出会い、絵本の研究に没頭。その研究は、イギリスでも知られていなかったヴィクトリア時代の絵本に関する詳細な博士論文『A History of Victorian Popular Picture Books』（風間書房）に結実。6年間のイギリスでの生活と学び・研究の日々を綴る。「いくつになっても、学びと旅立ち」への勧めの書でもある。

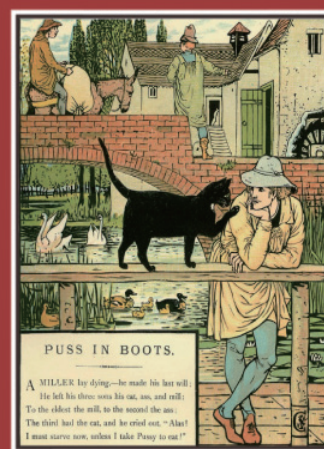
四六判・284頁 定価(本体 2,000円+税)

ISBN978-4-7599-2164-9

2017年 2月刊・好評発売中

イギリス絵本留学滞在記
—現代絵本の源流ウォルター・クレインに魅せられて—

正置友子 著
Masaki Tomoko



風間書房

目次

序文 マサキトモコさんの新しい本の出版に寄せて
(キンバリー・レイノルズ)

はじめに一五十四歳の旅立ち

第1部 イギリスで暮らす

- 第1章 ジャッキーさんとイングリッシュ・ホーム
- 第2章 イギリスの衣食住
- 第3章 イギリスでの健康管理
- 第4章 イギリスの乗り物

第2部 イギリスで児童文学を学ぶ

- 第1章 ローハンプトン大学大学院
- 第2章 ローハンプトンのクラスメートたち
- 第3章 ローハンプトンの教師たちとその教科内容
- 第4章 キンバリー・レイノルズ教授と国立児童文学研究所

第3部 イギリスで、絵本研究過程で出会った人たち

- 第1章 ブライアン・オルダーソン先生
- 第2章 ノーマン・ワドルトン先生とケンブリッジ
- 第3章 印刷の研究
- 第4章 クレイジー・チャーリーと二枚の学生証
- 第5章 イギリスの小学校へ日本の絵本を読みに行く

第4部 ヴィクトリア時代の絵本に魅せられて

- 第1章 ヴィクトリア時代は、絵本の花が開いた時であった
- 第2章 エドモンド・エヴァンズ登場
- 第3章 エドモンド・エヴァンズ少年、印刷工房に弟子入りする
- 第4章 ヴィクトリア時代の木口木版 こぐち
- 第5章 エヴァンズとカラー印刷
- 第6章 児童文学史上重要な一八六五年
- 第7章 ヴィクトリア時代の絵本トイブック
- 第8章 エヴァンズとクレインのコラボレーションの絵本を見る
- 第9章 エヴァンズとコルデコットのコラボレーション
- 第10章 ヴィクトリア時代の終焉を見た夏目漱石

付録「イギリスではじめての日本絵本原画展」について

参考資料

おわりに—「いちばん遠くにあるものを見つめ続けてください」と、イギリスのフィジオセラピストは言った